

特集

新潟県の高校再編の現状

新潟の高校教育はどう変わる

文部科学省の『高等学校教育の改革に関する推進状況』（2006年度）によれば、全国で何らかの形で高校教育の再編整備計画を策定するか、同計画を実施している県は39都府県に及んでいます。

高校再編を必要とする理由の第一は「少子化」ですが、もう一つ見逃せない理由が「生徒、保護者、地域、社会のニーズに応じた」（文部科学省『新時代に対応した高等学校教育改革推進事業実施要項』）とするものです。そのことにかかわって「特色ある学校・学科の設置」や「新しいタイプの学校の設置」等が進められています。さらにこの再編は学校統廃合と同時並行で進められているのが、もう一つの特徴です。

新潟県における高校再編は、基本的には全国で進められている再編に沿うものですが、いくつかの新潟県の特徴を見ることができます。そのひとつは本県の再

編計画が大学進学率の向上に軸足を置いて進められていることです。また日本高等学校教職員組合によれば、高校再編には神奈川や大阪のように人口減少が見られないなかで、再編を積極的に進める「都市型」タイプと、人口減少が契機となつて再編が進められる北海道、青森等の「非都市型」タイプの二つの型があるとしています。そのなかで新潟県は大都市圏ではありませんが、「都市型」に近いタイプの再編と分析されています（『高校の広場』NO68）。このように急激に進行しつつある本県の高校再編が、高校教育に何をもたらすのか、また子どもたちにどのような影響を与えるのか検証したいと思います。

尚、私立高校については対象といたしませんでした。

（編集部）